ウンカ情報第１号

平 成 ２ ２ 年 ７ 月 １ 日
愛 知 県 農 業 総 合 試 験 場
環境基盤研究部病害虫防除グループ

１　セジロウンカの発生状況

例年に比べ飛来時期が早く、6月下旬の本田調査（県内 106ほ場）では、県下全域の40ほ場で成虫や幼虫が捕獲されており、特に捕虫網による20回振り調査では最近10年のデータと比較して捕獲数が最も多くなっています（表1）。また、予察灯への成虫の飛来も、長久手町と西尾市で確認されています（表2）。JPP-NETのウンカ類飛来予測システムによると、本年は本県へのウンカの飛来に適した気象条件がこれまでに8回出現しており、今後も気象状況によっては断続的な飛来の可能性があります。ほ場での今後の発生動向に十分注意してください。

表1　セジロウンカの本田調査結果（平成22年6月下旬調査 106ほ場平均 単位:頭）

調査方法	成虫	幼虫	計
粘着板による10株の払い落し	0.18(0.05)	0.37(0.13)	0.55(0.19)
捕虫網による20回振り	1.92(0.26)	0.10(0.05)	2.02(0.31)

注）（　）内数値は平年値（平成12～21年の平均）

表2　セジロウンカの予察灯における誘殺数（平成22年　単位:頭）

	長久手町	大口町	東浦町	弥富市	西尾市	豊川市
6月第1半旬	0 (　0)	0 (　0)	0 (　0)	0 (　0)	0 (　0)	0 (0.1)
6月第2半旬	0 (　0)	0 (0.3)	0 (　0)	0 (　0)	0 (　0)	0 (　0)
6月第3半旬	0 (0.3)	0 (0.1)	0 (　0)	0 (0.3)	0 (　0)	0 (0.7)
6月第4半旬	1 (　0)	0 (0.2)	0 (0.2)	0 (　0)	0 (　0)	0 (0.6)
6月第5半旬	0 (0.4)	－ (1.1)	0 (0.7)	0 (　0)	1 (　0)	0 (0.5)
6月第6半旬	1 (3.5)	－ (11.1)	－ (1.6)	－ (1.2)	－ (5.3)	－ (1.8)

注）（　）内数値は平年値（平成12～21年の平均）

２　トビイロウンカの発生状況

県内の予察灯で成虫は誘殺されておらず（表3）、本田調査でも未確認です。しかし、他県では5月４日に広島県で飛来が確認されており、例年、西日本を中心に被害がでていますので、本県でも注意が必要です。

表3　トビイロウンカの予察灯における誘殺数（平成22年　単位:頭）

	長久手町	大口町	東浦町	弥富市	西尾市	豊川市
6月第1半旬	0 (　0)	0 (　0)	0 (　0)	0 (　0)	0 (　0)	0 (　0)
6月第2半旬	0 (　0)	0 (　0)	0 (　0)	0 (　0)	0 (　0)	0 (　0)
6月第3半旬	0 (　0)	0 (　0)	0 (　0)	0 (　0)	0 (　0)	0 (　0)
6月第4半旬	0 (　0)	0 (　0)	0 (　0)	0 (　0)	0 (　0)	0 (　0)
6月第5半旬	0 (　0)	－ (　0)	0 (　0)	0 (　0)	0 (　0)	0 (　0)
6月第6半旬	0 (　0)	－ (　0)	－ (　0)	－ (　0)	－ (　0)	－ (　0)

注）（　）内数値は平年値（平成12～21年の平均）